

令和5年度事業報告

1 会議に関する事項

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
正・副理事長 打合せ会	5. 4. 26	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 4名	・役員補選の件について ・令和5年度常設委員会委員候補者について
監 事 会	同 上	同 上	監事 3名	・令和4年度収支決算に関する事項について
理 事 会	同 上	同 上	理事 15名 監事 3名	・第70回優良従業員表彰被表彰者決定について ・令和4年度事業報告及び決算等について ・第84回定時総会提出議案について ・役員補選の件について ・令和4年度JAS優良工場決定について
正・副理事長 打合せ会	5. 5. 30	沖縄ハーバー ビューホテル	正・副理事長 4名	・役付役員の互選等について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 14名 監事 2名	・第84回定時総会の運営について ・令和5年春の褒章の受章について ・令和5年度委員会等委員の委嘱について ・その他
第84回定時 総会	同 上	同 上	会員 110名 本人出席29名 委任状81名	①令和4年度事業報告の件 ②令和4年度決算書等承認の件 ③定款改正の件 ④令和5年度事業計画報告の件 ⑤令和5年度収支予算報告の件 ⑥入会基準決定の件 ⑦令和5年度加入金決定の件 ⑧令和5年度会費及び徴収方法決定の件 ⑨常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑩理事の一部退任に伴う補選の件
役付役員 互選理事会	同 上	同 上	理事 13名 監事 2名	・役付役員の互選について
正・副理事長 打合せ会	5. 9. 27	東京會館	正・副理事長 4名	・令和6年4団体総会等開催について ・日本ハム・ソーセージ工業協同組合における物流問題の対応について ・給与規程の見直しについて（案）
理 事 会	5. 9. 27	東京會館	理事 14名 監事 2名	・ベーコン類等JAS見直しにかかる検討について

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
				<ul style="list-style-type: none"> ・ 経理状況報告について ・ その他
品 質 規 格 委 員 会	5. 11. 21	ハム・ソーセージ 会 館	委員 20名	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベーコン類等のJASの見直しについて
正・副理事長 打 合 せ 会	6. 1. 30	ホテル雅叙園 東 京	正・副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流の2024年問題への対応について ・ 給与規程の改正について
理 事 会	同 上	同 上	理事 17名 監事 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給与規程の見直しについて ・ 会員及び組合員の加入について ・ 令和5年度 品質規格委員会、表示検討委員会及び同専門委員会の開催について
正・副理事長 打 合 せ 会	6. 3. 27	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 任期満了に伴う役員改選の件について ・ SDG s 推進委員会の機能の一部見直しについて ・ 松阪ハム(株)及び大食加工(株)の事業停止に伴う対応について
理 事 会	同 上	同 上	理事 17名 監事 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度予算の基本方針及び大綱について ・ 令和6年度収支予算について ・ 令和5年度食品表示懇談会の概要と取組み及び今後の進め方について

2 庶務に関する事項

(1) 令和5年4月29日、一般社団法人 日本食肉加工協会の副理事長である大和食品工業株式会社の竹内裕嗣社長が農林水産省関係で「黄綬褒章」、理事である薩摩ハム株式会社の清田浩徳社長が厚生労働省関係で「藍綬褒章」とそれぞれ受章の栄に浴された。

さらに、令和5年11月3日、日本ハム・ソーセージ工業協同組合(以下「ハム組合」という。)の副理事長である天狗中田産業株式会社の中田二郎社長が農林水産省関係で「藍綬褒章」の受章の栄に浴された。

いずれも多年にわたり食肉・食肉加工業に従事し、関係団体の要職にあって組織の運営と業界の発展に尽力した功績が認められての受章であった。

(2) 令和5年5月30日、「沖縄ハーバービューホテル」において第84回定時総会が開催され、理事の一部退任に伴う役員補選が行われた結果、次のとおり理事2名が選出された。

理 事：小原 健児（前動物検疫所 所長）

同 ：木藤 哲大（日本ハム株式会社 取締役会長）

第84回定時総会に引き続き開催の役付役員互選理事会で役付役員の互選が行われた結果、次のとおり理事長1名が選任された。

理事長：木藤 哲大（新任）

(3) 令和6年3月4日、一般財団法人食品産業センター主催の「第45回食品産業優良企業等表彰」の食品産業部門において、農林水産大臣賞が以下の通り授与された。

農林水産大臣賞〈経営革新タイプ〉

金澤 俊司（銀河フーズ株式会社 代表取締役社長）

3 会員に関する事項(令和6年3月31日現在)

期 別	会 員 数
前期末現在	127名(正会員甲124名、正会員乙0名、特別会員3名)
新加入者	2名(正会員甲 2名)
脱退者	4名(正会員甲 4名)
今期末現在	125名(正会員甲122名、正会員乙0名、特別会員3名)

(注1) 正会員甲：食肉加工業を主たる事業として経営するもの

正会員乙：食肉加工業を事業の一部として経営するもの

特別会員：食肉加工業に関連を有する者で理事会が承認したもの

4 事業の概要

(1) 安全性の確保に関する事業

ア 食品用器具・容器包装ポジティブリスト制度説明会と食肉製品製造事業者向けQ&Aの作成について

令和5年9月22日に、食品用器具・容器包装ポジティブリスト制度に係る説明会を厚生労働省 食品基準審査課 担当官をお招きし、標記説明会を開催した。説明会后、説明会概要及び会員からの質問をまとめたQ&Aを作成し、会員に案内し周知を図った。

イ HACCPシステムに基づく衛生管理講習会の開催

会員に対してHACCPシステムについての理解を深め、かつその推進を図るため、「HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)(旧講習会名:総合衛生管理製造過程に係る講習会)」を、衛生管理の基礎からHACCPシステムの構築までの知識を習得することを目的として3年ぶりに4日間の対面講習を行った。

開催日	受講者数
令和6年2月13日(火)、14日(水)、15日(木)、16日(金)	23名

ウ 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、消費者庁、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連機関が実施する安全性の確保に関する講習会等を通じて情報の収集を行

い、会員、消費者等に情報を提供した。

エ 食品衛生法の改正等に伴う関連情報の収集及び提供

関係省庁等から情報を収集し、会員、消費者等へ最新情報の提供に努めた。

オ 食肉加工品の安全性に関する問合せへの対応

会員、消費者等からの問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(2) 品質・製造技術の向上及び規格・表示に関する事業

ア ベーコン類等 J A S 見直しにかかる検討について

J A S 法では5年ごとに J A S の見直しを行うこととされているが、ベーコン類等7品目(ベーコン類、ハム類、プレスハム、ソーセージ、熟成ハム類、熟成ソーセージ類、熟成ベーコン類)については、令和6年8月に見直しの期限が設定されている。J A S の見直し作業を行うため、「J A S 原案作成マニュアル」(2022年10月版)(農林水産省大臣官房新事業・食品産業部食品製造課基準認証室)にしたがい、プロジェクトチーム(P T)を設置し、検討作業を進め、9月4日に第1回の会合を開いて、改正要望事項を検討した。12月22日に第2回P T会議において、J A S 改正に係わるアンケート結果報告、合同委員会結果報告を行い、本 J A S 改正事項は承認された。

イ 食肉、食肉製品の基礎セミナー

営業職の方、お客様相談室のご担当者、新入社員などを対象に、食肉、食肉製品についての基礎知識を学んでいただき、自社製品への理解をより深めて頂くことを目的としてオンラインセミナーを実施した。

開催日	受講者数
令和5年9月8日(金)	26名

ウ 食肉製品の規格と表示に関する研修会の開催について

ハム・ソーセージ類公正取引協議会(以下「公取協」という。)及び一般社団法人食肉科学技術研究所(以下「食肉科研」という。)と協力し、食品の表示の基本となる食品表示基準に加え、J A S 規格、食品衛生法及びハム・ソーセージ類の表示に関する公正競争規約との関連性について、若手を対象とした「食肉製品の規格と表示に関する研修会」を令和5年度は10月に1回実施し、14名が参加した。

エ 令和5年度 品質規格委員会、表示検討委員会及び同専門委員会

(第1回 合同委員会)の開催について

J A S の見直しについて、9月4日に第1回P T会議を開催し、改正要望事項の検討結果を踏まえ、ハムソー業界委員の意見を伺うための品質規格委員、また、今回の改正は食品表示基準にも影響を及ぼすことから公取協の表示検討(専門)委員を含めた合同委員会を開催し、改正要望事項について検討を行った結果、委員会出席委員25名全員からの賛同を得た。

オ J A S 見直しに係る申請書類の提出について

J A S 見直し（改正要望事項は定義の変更）に係る申請書類を令和6年2月22日付で農林水産省に提出し、2月28日付けで受理された。今後、農水省内での法令審査、パブリックコメント、J A S 調査会等が開催され、J A S 改正に向けた手続きが実施される。また、J A S 改正と同時期に食品表示基準の改正も行われる予定である。

カ 初級食肉加工技術講習会の開催

食肉及び食肉加工品に対する理解を深めるため、その種類や製造方法、原料肉の基礎知識、食肉の科学並びに衛生管理等に関し、5日間の日程で開催した。また4年ぶりに製造実習を再開し、製造技術だけでなく、製造工程ごとにHACCPの危害分析を行い衛生的な考え方の習得を取り入れた実習内容で実施した。

開催日	講習形式	受講者数
令和6年2月19日(月)、20日(火)	オンライン講習	28名
令和6年3月4日(月)、5日(火)、6日(水)	対面講習	

キ 令和5年度 食品表示懇談会に関わる取組みについて

(1) 「水の原材料表示」に係るアンケート調査について

令和5年4月に消費者庁から「現行の食品表示制度を国際基準（コーデックス規格）との整合性の観点も踏まえ見直す。」ことについて説明があったため、原材料として「水」を使用した場合の表示について、8月17日付で会員宛にアンケート調査を実施した。

(2) 「チルドハンバーグステーキ」、「チルドミートボール」（個別品目）ごとの表示ルールの見直しに係るアンケート調査について

「個別品目ごとの表示ルールについては、国際整合性や消費者にとっての分かりやすさという観点も踏まえ、横断的なルールに寄せていく方向で見直す必要がある」との説明があったため、個別義務表示の必要性について、会員宛にアンケート調査（令和6年2月8日付）を実施し、現在結果を取りまとめ中である。今後、ベーコン・ハム・ソーセージの個別義務表示の必要性についても、アンケート調査を実施する予定である。

ク 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、消費者庁、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連団体が実施する品質や規格・表示に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

ケ 品質等管理優良事例の表彰

J A S 認証事業者のうち年間を通じて格付業務並びに品質管理が優秀であった上

位13工場並びに当該工場の品質管理担当者、格付担当者に対し、表彰状及び記念品を贈呈した。

コ 消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せへの対応

消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(3) 普及啓発に関する事業

消費者への食肉加工品に関する正しい知識の普及啓発を目的として、ハム組合及び公取協の協力を得ながら次の事業を実施した。

ア 小冊子の作成及び配布

見開きA5サイズカラー43ページの小冊子「ハムソベQ&A大全」を4万部作成し、国産食肉消費促進イベント等の催事及び会員・組合員を通じて消費者に配布した。

イ 催事への協賛・協力

令和6年3月5日～8日に開催された「第48回食肉産業展2024」に出展し、パネルの展示、書籍の展示、冊子の配布（約3千冊）等を行った。

エ 加工情報誌の発刊等

食肉加工業に関する時事、経営、技術のほか統計資料等に関する情報を編集した「日本食肉加工情報」を毎月1回発行し、会員及び関係官公庁、団体、学校、その他に広く配布した。

(4) 経営の改善等に関する事業

ア ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定の推進と実施協力

令和5年度後期「ハム・ソーセージ・ベーコン製造」技能検定について、ハム組合及び食肉科研と連携して実技試験の実施に協力した。令和6年2月4日、5日に実技試験が行われた結果、1級40名、2級33名が「ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能士」となった。

イ 環境自主行動計画について

環境自主行動計画について、2030年を目標年度とする「食肉加工業界の環境自主行動計画」に係る令和4年度フォローアップ調査（令和4年度実績）を実施し、その調査結果を令和5年11月7日に農林水産省へ報告するとともに、令和6年3月1日にハム組合ホームページに掲載した。

(5) 食肉加工業に関連する法令の改正等に伴う情報の収集及び提供

食肉製品に係る法令（食品表示法、JAS法、食品衛生法、健康増進法及び景品表示法等）の改正等の情報を収集し、必要に応じて会員に係る資料を送付、周知を図った。

(6) 食肉加工関係功労者の表彰について

会員の従業員として永年勤続し、勤務成績良好で他の範とするに足る優良従業員に

対し、ハム組合と合同で、30年以上の勤続者には表彰状及び記念品を、20年以上の勤続者には表彰状を贈呈した。

被表彰者 30年以上勤続者 伊藤ハムデイリー株式会社 小 倉 訓 氏 他全77名

20年以上勤続者 信州ハム株式会社 井 出 かすみ 氏 他全15名

(7) その他

ア 令和6年のカレンダー及び食肉加工手帳を作成し会員等にそれぞれ配付した。

イ 会員に対する慶弔について

会員の慶弔に対し、ハム組合と合同で規程に基づき慶弔の意を表した。

慶 弔 6 件